

氏名	橋本 健	生年月日	1950年 2月 2日
所属・役職	政策調査分析センター	経験年数（うち本業務の類似業務従事年数）	
	研究参与	30年（5年）	
専門分野	イノベーション論、R&D マネジメント、MOT（技術経営）、技術・知財分析、産業技術政策、プリンタ技術、機能性材料、高分子物性		
所有資格	博士（技術経営）		
経歴（職歴／学位）	<p><学歴></p> <ul style="list-style-type: none"> 京都大学/工学部/高分子化学科卒業（1973年3月） 東京工業大学大学院/イノベーションマネジメント研究科(博士課程)修了（2013年6月） <p><職歴></p> <ul style="list-style-type: none"> 富士ゼロックス（株）（1974年～2010年） リサーチ・フェローとして新規記録材料技術のR&DやR&D戦略を主導 シニア・マネージャとして新規事業の立上げ、技術人材育成、等を主導 フリーランスのMOTコンサルタント（2010年～現在） イノベーション関連コンサル、企業のイノベーション研修開発、等 公益財団法人 未来工学研究所（2014年～現在） 科学・技術政策、産業技術、知財情報サービス関連、等の調査・分析 		
所属学会等	研究・イノベーション学会（現在、監事）、組織学会、日本画像学会		
業務の実績			
業務名	直近5年間の主な業務内容	履行期間	
サービス分野ルール形成の調査・分析	経済産業省委託（H26年度）。TOP2020やインバウンド増加に対応した新サービス開発の障害を分析し改正案を提示。	2014年10月～ 2015年3月	
イノベーションと日本社会の特質に関する調査研究	過去の日本論s、国民性の国際比較、文化心理学、遺伝子効果、等から日本社会の特質を描き、日本的イノベーションの促進・阻害要因を分析・考察した。新技術振興渡辺記念会委託（H26年度）をベースに展開し学会発表（H28年）。	2015年3月～ 2016年11月	
未来社会（2050年）シナリオのスケッチ	民間企業委託。戦後の技術革新と社会の変化を振り返りつつ、2050年に向けたICT、バイオ、モビリティの進化・革新に関する予測を調査・分析し、未来社会イメージを描画。	2016年9月～ 2016年12月	
産業競争力低下の要因分析	自主調査研究。日本の産業競争力低下はコンセプト形成能力の低下が主要因ではないか、と考え、日本企業の人材観（新卒採用、経営リーダー選抜、博士採用数）と競争力の関係を分析・考察した（学会発表、H29年）。	2016年10月～ 2017年11月	
大学、等での講義	依頼に基づき、社会貢献も兼ねて、大学・大学院、等において①イノベーション論や戦略論関連、②プリンタ用機能材料技術関連の講義、講演を実施。 （東工大・研究会、中央大大学院、東海大）	2015年から継続中	